

平成25年8月22日

関係者の皆様へ

火気の取り扱いには、十分な注意をお願いします！

平成25年8月15日19時半ごろ、京都府福知山市の花火大会の露店で爆発・火災が発生し59の方が重軽傷を負い、その内3の方が残念ながらお亡くなりになりました。(死者数については8月22日現在)

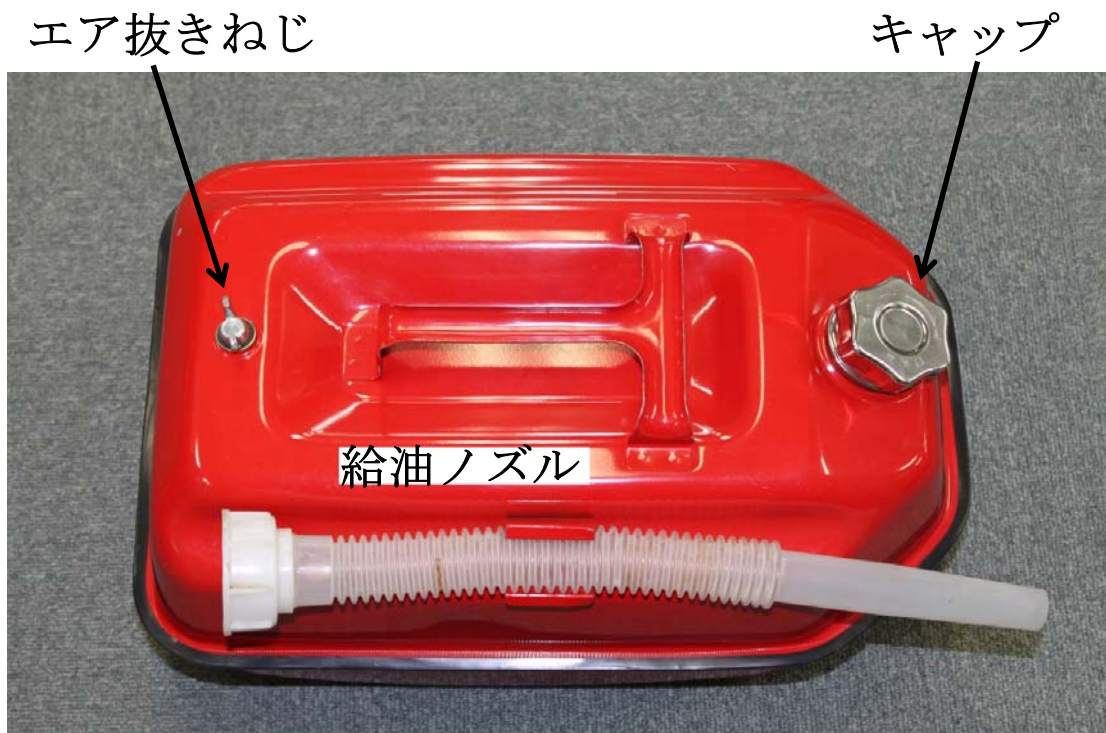
火災などを起こさないように、下記の点に十分注意して適切な火気の取り扱いをお願いします！

- (1) ガスコンロは、不燃性の台の上に置き、周辺に可燃物を置かないこと。
- (2) ガソリンなど燃料を取り扱う場合は、火気のない場所で行うこと。
- (3) たばこの吸い殻は、水を張った灰皿に捨てること。

宗 像 消 防 署  
電話 3 6 - 2 4 2 5



## ※ガソリン携行缶使用上の注意！！



### ア 給油場所

給油の際は、万が一溢れても周囲・人体に危険を及ぼさない、風通しの良い安全な場所で行うこと。

### イ 給油の手順

- (1) ガソリンの噴出を防ぐため、まずエア抜きねじを緩めて缶内の気圧を下げた後にキャップを開けること。
- (2) キャップを外し、給油ノズルを確実に取り付けたことを確認し、ノズルを機械器具等の給油口に差込み、携行缶をしっかり持って給油すること。
- (3) 使用後は給油ノズルを外し、キャップ、エア抜きねじを確実に締め、携行缶を静かに傾け、キャップからガソリン漏れのないことを確認すること。

### ウ 保管方法

- (1) 長期間保管する場合は、携行缶を満タン（規定容量）にして、キャップ・エア抜きねじを確実に締めて、冷暗所に保管すること。
- (2) 携行缶を完全に空にして長期間保管する場合は、エア抜きねじを全開で保管すること。
- (3) 常に火気厳禁、直射日光を避け、密封した車内に放置しないこと。

### エ 携行缶の取り扱い

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れ等の事故が発生していますので、使用時には取扱説明書をよく読み、適正な取扱いをすること。

## ※プロパンガス使用上の注意！！

次の事項は、必ず守って下さい。

- ◆ ガス器具は必ず LP ガス用のものをご使用下さい。（都市ガス使用は×）
- ◆ 安全管理は次のようなことを徹底してください。
  - ① 容器は転倒・転落しないように平らな場所で使用する。
  - ② マッチ等で点火する時は、マッチに点火した後で器具ガス栓を開き燃焼器に点火する。
  - ③ 点火は火がついたことを必ず目で確認する。
  - ④ 使用中は、その場を離れない。
  - ⑤ 常に青い安定した炎で使用する（赤い炎は不完全燃焼で危険です。）
  - ⑥ 火気及び燃えやすいものの付近で使用しない。
  - ⑦ 使用後は、器具ガス栓・容器バルブを完全に閉め、消火を目で確認する。
  - ⑧ ゴム管（オレンジ色）は、ゴム管取付部の赤線の印まで差し込みホースバンドで止める。又ゴム管にひび割れ等が発生していないか否かを時々点検確認し早めに交換する。
  - ⑨ ゴム管は踏まない、引っ張らない。
  - ⑩ 三つ又は危険なので、使用しない。
  - ⑪ 容器を保管する場合は、直射日光・火気を避け風通しの良い場所に保管する。
  - ⑫ もしも、ガスが漏れた時には、空気より重いため、側溝や低い場所に溜まります。

ガス漏れ等重大な欠陥が発見された時、

危険と思われる時は次の事項を守って下さい。

- ◆ ガス漏れの場合、次の手順で対処する。
  - ① 使用中の全ての火気を消す。
  - ② 電気設備、電気には手を触れない。
  - ③ 器具栓、容器バルブを閉めて風通しの良い場所に移す。
- ◆ 火災の時は、容器バルブ、器具栓を閉めて安全な場所に移す。
- ◆ 地震の時は、容器バルブ、器具栓を閉める。
- ◆ 緊急時には消防署に連絡する。

